

学校 教育 目標	チャレンジ!! ~自分を信じて 仲間を信じて 最後まで~				
	○進んで学ぶ子を育てます。(知) ○おもいやりのある心豊かな子を育てます。(徳) ○健康でたくましい子を育てます。(体) ○まちや自然を愛し、社会につくす子を育てます。(公・開)				
学校 概要	創立 26 周年	学校長	立田 順一	副校長	後明 好美
	児童生徒数: 415 人	主な関係校: 緑園東小学校 岡津中学校			
		2 学期制		一般学級: 14 個別支援学級: 2	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岡津中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組

中期 取組 目標	○子どものもつ力に全幅の信頼を置き、子どもたちが明日も来なくなる学校づくりを進めます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりがすでにもっている力を確かに見取り、最大限に生かしつつ、協働的に高め合い、称え合える学校生活の充実を図ります。</li> <li>生きて働く知恵を育成するために、授業の在り方を工夫するとともに、個の特性に合った支援の仕方を実践します。</li> </ul> ○「まちとともに歩む学校づくり」を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>生きて働く知恵を育成するとともに子どもの自分づくりを支援するために、家庭・地域・外部関係機関との連携を密にした活動を実現します。</li> <li>子どもたちが地域に参画する、地域に開かれた学校づくりを一層推進します。</li> </ul>

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①生活科、『横浜の時間』(総合的な学習の時間)を重点研究に取り上げ、社会貢献・社会参画する活動をする中で他教科等で育成した力を活用したり主体的に問題解決したりする力を育成する。 ②各単元で育成すべき資質能力を学年内で共有し、子どもたちが活動を見通すことのできる学習課題を設定する。 ③協働的に問題追究や解決ができる学習形態の工夫をするとともに、学びを振り返るよさを実感できるようにする。
担当 重点研推進委員会	
豊かな心	①道徳の時間を中心として、自分と周りの人を大切にできる意識を高める。 ②異学年同士のつながりを深めることで、自他のよさを生かしながらめあてに向かって活動できるようにする。 ③特別活動に関わる活動等を通して、自分と周りの関係性を客観的かつ肯定的にとらえられるようにする。
担当 人権・道徳部	
たくましく 健やかな体	①地域、保護者との連携を密にし、学校保健委員会を核とした歯科衛生、食育の推進を図る。 ②体力向上一校一実践運動でなわとび運動に取り組み、長縄の取組を全校で、そして短縄の取組を各学年で継続的かつ計画的に年間を通して行う。
担当 体育部・保健部	
児童指導	①YPアセスメントや学状データ等客観的データも積極的に活用し、多面的に子ども一人ひとりを理解できるようにする。 ②児童支援専任を核に、個々の子どもたちの学びや成長を6年間を通して確実に引き継ぎ、継続的に子どもを見取るようにする。 ③職員会議内に情報共有の場を定期的に設けるとともに、心配な兆しがあればすぐに近くの職員と共有し対応を検討する「いつでも・ちょこっと会議」を、主幹教諭を中心に意識的に行うようにする。 ④あいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」を自然に言うことのできる大切さやよさを価値付け、気持ちよく生活できるようにする。
担当 児童指導・特活部	
自分づくり教育	①生活科、『横浜の時間』(総合的な学習の時間)を中心に、自分で考えて試行錯誤し、失敗や体験から学ぶ姿勢や、あきらめずにやりとげようとするよさや意義を実感できるようにする。 ②活動の中で多くの人と出会い、その方々と本気で活動することでこれからの自分の生き方を考えられるようにする。
担当 重点研推進委員会	
地域連携・ 学校運営協議会	①緑園東小学校との合同学校運営協議会をより充実させるため、校長、副校長を中心にした連携を密にとる。 ②協議内容を校内で共有したり各職員が会に参加したりする等、全教職員の協議会への参画意識を高める。
担当 カリマネ委員会	
いじめへの対応	①児童支援専任を核とした学年内の職員の連携を密にして、子どもの小さな変化を的確かつ迅速にキャッチし、職員間でいつでも共有して柔軟に対応できるようにする。 ②月一回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行う。 ③研修を計画的に実施し、全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、年3回の児童アンケートも確実に実施する。
担当 児童指導	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①若手の目指すところとなるミドルリーダーと密に連携をとって研究や各行事を実施することにより、該当職員が自信をもちつつ確かな実践ができるようにする。また、緑園東小との合同カリマネ研究会をミドルの育成の場と位置付け、創造的かつ計画的な考え方ができるようにする。 ②10年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダー候補を中心に研究会を計画的に実施する。 ③主幹教諭を中心に諸会議や会計手続き、組織編成を検証し再構築することで、職員の作業の簡便化や効率化を徹底して図り、働き方改革につなげる。
担当 カリマネ委員会	